

村づくり基金の新たな活用について Ver 2

2020年12月

1 移住者の促進に向けて

① 村づくり協議会ホームページの活用

- 移住者の声や生活・活動の掲載
 - *実施済み、継続していく
- 豊和地区の賃借可能な空き家の掲載
 - ・掲載のお礼として家主に謝礼
 - *1000円相当の謝礼する。掲載募集を回覧板等も活用して進める。

② 「移住マッチング」の取組への支援

- 移住が実現した場合、間を取り持った「取組」に謝礼を支払う。
 - *具体化を検討すべき。その場合、3～5万円くらいでどうか？
 - *「村づくり事業」への取り組みに含めて実施するのも一案か

③ 移住者への支援

- 新規移住者に一時金を支給してはどうか。
 - <参考：市の支援> 家を新築：100万円 中古住宅購入：60万円
 - *賃貸を対象とする。⇒市の支援の対象とならない人
 - *金額については、単身、世帯、子供の有無で変える⇒金額感は？
 - ・10～15万円くらいの一時金
 - ・1万円を上限に一年間家賃の半額を補助

○既に移住して来た人も含めての定着支援制度

- ・住居のリホーム費用の補助
 - *来期中に制度として立ち上げる方向で検討したい。
- ・不要な家具などの生活用品の斡旋
 - *飯塚谷曲輪の膳椀倉庫の備品を希望者に提供した。
 - *協議会が主催して「不用品交換バザー」を実施してはどうか
例えば、空き家が出た時、や移住者がきた時に開催するなど。

○移住者に空家を提供した家主へ謝礼⇒提供促進と家主（地域の方）への還元

- *前向きに検討してもいいのではないか、その場合金額は？
 - ・定額とするか空家によって金額を変えるのか。
 - ・金額を変えるとすれば、基準は？ 家賃とすると結果として家賃が高くなることも。

○移住者の地域での仕事への支援

⇒こちらは「村づくり事業」への助成に含めて検討していく。但し、個別案件については、金額を含めてその都度協議して決めていく。

- ・地域の人にサービスを提供した場合に料金の一定額を補助する
- ・受ける側を豊和住民等に限定するか？ 他も可とするか？ その場合補助金額は変えるのか 豊和以外の地域には半額とかという考え方もある。

2 「村づくり事業」への助成

地域アンケートからも将来地域で必要となるサービスや求められるサービスが見えてきています。こうした事業に対する助成を考えていく必要がある。

① 起ち上げ 資金の無利子貸し付け

○金額と返済期間

○年間の金額枠とそのため資金計画（基金の設立と積立）

② 事業が成り立っていくための助成

○実施する側と受ける側の双方のプラスとなる仕組み。利用に対する補助金。

* 具体化に向けて検討を進めたい。「地域おこし協力隊」の受け入れもあるので、来期に実施できるように進める。

<1例として>

コインランドリーが近くにあるといいという声があるので、お母さんたち自身のビジネスとして立ち上げられないか。